

## 年頭の辞

九州運輸局観光部長 進藤 昭洋



令和6年の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。

「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」、この3つのキーワードに特に留意し、戦略を取りまとめた観光立国推進基本計画が閣議決定されたのは、昨年3月のことでした。どのキーワードも重要であり、短期的には戦略の実現に向け政府を挙げて取り組んでいくこととなりますが、施策を九州に展開していく上で、特に地方誘客と持続可能性に注目しています。

雄大で表情豊かな四季折々の風景、各地域で育まれてきた伝統文化や食文化など、いつ現場に行っても学びがあり、気付きがあります。九州の持つ観光資源の高いポテンシャルをまだまだ活かしきれていない、そう感じています。自治体やDMOなど、関係の皆様は観光庁の様々なメニューや九州運輸局独自の事業をご活用いただくなど誘客に取り組んでいただき、国内外の旅行者の皆様は九州の魅力を何度も体験していただきたいと願っています。

旅行者が素敵な旅の思い出を持ち帰っていただくことと同様に重要なのは、観光で潤うことで地域に活力が生まれ、地域住民の方々が地域に誇りを持って暮らしていただくことです。サステナブル認証を取得する地域を増やすことがインバウンド目線でも求められていますが、観光に携わる方々と観光地にお住まいの方々、双方の幸福度を高めることが持続可能な観光であると考えています。

今年も九州では10月に「ツール・ド・九州」が予定されており、「国民スポーツ大会」・「全国障害者スポーツ大会」など、注目を集める大きなイベントが開催されます。また、日米観光交流年のイベントとして交流事業が開催されるなど、日米双方向の観光交流の拡大が期待されています。こうしたチャンスを逃さず、その波及効果を九州全体でしっかりと取り込むことができるよう、九州運輸局観光部一同、地域の関係者の皆様との連携を強化しつつ、しっかり汗をかいてまいります。本年も変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。